

〈花見で花味！〉

近くのお寺の庭に咲いている桜、種類は分からないが今満開だ。その満開の桜にヒヨドリとメジロが数羽群がっていた。花見ならぬ花味の真っ最中でしきりに蜜を吸っていた。欲張りのヒヨドリは近くに他の仲間が来るとあの甲高い鳴き声で威嚇し、追いかけてこが始まる。花が咲いているのは細い枝なので、ヒヨドリの体重では重すぎ、ユラユラと揺れて心もとない。体をねじったり逆さまになったりのアクロバティックな体勢で器用に蜜を吸っている。しかし乱暴な食べ方をするのでせつかく咲いた花もたくさん地面に落とされて



てしまう。ホントに困ったもんだが、この食欲さ、傍若無人さこそが彼らの生き残り戦術なのだろう。一方、軽量のメジロは小回りのきく体でチョコチョコと枝から枝へ飛び回り、ヒヨドリがいても素知らぬ顔で花の中に顔を突っ込んでいる。好物のミカンや椿の花はヒヨドリとかぶるが、小さくて可愛いメジロはファンも多く、結構差し入れもある。その差し入れを横取りするヒヨ、そのしたたかさは鳥類随一かもしれない。

